

まちづくり交付金の客観的評価基準の確認シート

都道府県名	市町村名	地区名
富山県	射水市	新湊地区

I. 目標の妥当性

①都市再生基本方針との適合等	チェック欄
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 (該当するものに○) ① 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 4. 人口定着 ⑤ 観光・交流 ⑥ アメニティ 7. 交通利便性 8. 都市活力 9. 地域コミュニティ 10. その他	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 (該当するものに○) ① 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画 3. 都市再生緊急整備地域 4. 構造改革特別区域 5. 地域再生計画 6. 全国都市再生モデル調査 7. 被災市街地 ⑧ 中心市街地活性化計画 ⑨ その他	○
②地域の課題への対応	チェック欄
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	チェック欄
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	チェック欄
1) 十分な事業効果が確認されている	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	チェック欄
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑦円滑な事業執行の環境	チェック欄
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

【記入要領】

- ・都市再生整備計画の記載内容が、確認シートの各項目に該当する場合は、チェック欄に○を記入する。
- ・(該当するものに○)の項目は、都市再生整備計画の記載内容が該当する項目の番号を○で囲む。

センター施設必要性(新規整備)

様式5

都道府県	富山県	市町村	射水市		
地区名	新湊地区				
センター施設の名称	観光交流センター(仮称:川の駅)				
事業費(百万円)	81.4	延べ床面積(m ²)	654m ²		
事業期間	H19~H20				
年度計画(百万円)	H19:9.5(設計)71.4(建設) H20:0.5(建設)				
事業の熟度	詳細設計中	建設	○	購入	
センター施設の概要	平成14年3月「新湊市中心市街地活性化基本計画」、平成17年3月「新湊みなとまちづくり方策」および平成15年3月「新湊TMO構想策定事業報告書」で位置づけされている。 この施設は、海王丸パークから遊覧船に乗り内川への玄関口としての機能や文化そして情報発信の拠点としての役割が期待される。				
支援対象	川の駅、曳山展示場				
必要性等	<p>関連事業である内川交通ネットワーク事業が運航した。そのため、海王丸パークと中心市街地を結ぶ川の駅(乗降口)を設置することにより、来街観光客の増加が見込める。また、曳山展示場を併設し新湊の文化を体感できる施設として整備する。</p> <p>河川の右岸側(復路)には乗降口(青少年ホーム)が確保できるが、左岸側(往路)には乗降口が無いため住民からも整備が望まれている。</p> <p>来街観光客の増加により文化の発信地としての効果が期待される。</p>				
利用見込み	<p>遊覧船の乗客(年間7,300人)は、海王丸パークで船に乗り内川周遊後海王丸パークで船を降りるため、まちへ訪れることは無かったが、川の駅の設置に伴い遊覧船の乗客の大半がまちを訪れることが期待される。</p>				